愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程学位論文の予備審査に関する内規

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 令和２年１２月２４日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　制定

　（趣旨）

第１条　この内規は、愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程における学位論文の審査及び最終試験の実施に関する細則第２条第３項の規定に基づき、学位論文を提出する者が受ける予備審査の実施に関し、必要な事項を定める。

　（内容）

第２条　予備審査は、学位論文の草稿が看護学専攻博士後期課程の学位論文審査基準で示された内容に相当しているかを審査する。

　（条件）

第３条　学位論文を提出する者が予備審査を受けるための条件は、日本学術会議協力学術研究団体として登録されている学会の学術雑誌又は査読のある海外の学術雑誌に本人を筆頭著者とする論文（英語論文を含む。以下「参考論文」という。）を１編以上掲載又は掲載が決定していることとする。

２　前項に規定する論文は、修士課程（博士前期課程）修了以降に掲載された論文であることとする。なお、原著論文である必要はない。

　（手続）

第４条　学位論文を提出する者が予備審査を受けようとするときは、次の各号に掲げる書類（以下「関係書類」という。）を指導教員の承認を得た上で、看護学専攻長（以下「専攻長」という。）に提出しなければならない。

(1)　予備審査申請書（第１号様式）

(2)　学位論文

(3)　論文目録（第２号様式）

(4)　論文要旨（第３号様式）

(5)　参考論文が掲載又は掲載が決定していることを証明する書類

２　提出時期は、修了予定年次の１１月第２火曜日（９月修了予定の者については、５月第２火曜日）とする。この場合において、当日が休業日に当たるときは、その直後の平日とする。

　（審査の付託）

第５条　専攻長は、前条の規定により関係書類の提出があったときは、医学系研究科看護学専攻会議（以下「専攻会議」という。）に審査を付託する。

（審査委員会）

第６条　専攻会議は、学位論文ごとに速やかに審査委員会を設ける。

２　審査委員会は、主査１人及び副査２人の計３人の委員をもって組織する。

３　審査委員会の主査及び副査は、主指導教員及び副指導教員とは異なる教員のうち、研究指導を担

当する資格を有する教授又は准教授から、専攻会議において選出する。

　（審査及び報告）

第７条　審査委員会は、１１月末（９月修了予定のものについては５月末）までに審査を行い、その結果を専攻会議に報告しなければならない。

　（通知）

第８条　専攻長は、前条に規定する報告に基づき、予備審査の結果を申請者に通知する。

　（雑則）

第９条　この内規に定めるもののほか、予備審査に関して必要な事項は、専攻長が定める。

附　則

この内規は、令和２年１２月２４日から施行する。

　　附　則

この内規は、令和５年１１月１６日から施行する。

　　　附　則

この内規は、令和６年１月１８日から施行する。

　　　附　則

この内規は、令和６年１２月２日から施行する。

（第1号様式）

予備審査申請書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　　　年　　　月　　　日

愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻長　殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 主指導教員  承認印 | 副指導教員承認印 | |
|  |  |  |

申請者

　　　　　　　　年度入学

愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程

氏　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

下記論文について関係書類を提出しますので，予備審査をお願いいたします。

記

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 論文題目 |  |  |

添付書類

１）学位論文

２）論文目録（第２号様式）

３）論文要旨（第３号様式）

４）参考論文が掲載又は掲載が決定していることを証明する書類

（第2号様式）

論　文　目　録

氏　名

|  |  |
| --- | --- |
| 〔学位論文名〕 |  |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| 〔英　　　　　語〕 |  |
|  |

〔参考論文〕（掲載または掲載が決定しているもの）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 題目 | |  |
| 著者名 | |  |
| 学術雑誌名 | |  |
|  | （巻，号，ページ）　（　　　　　，　　　　　，　　　　　）に掲載・掲載が決定 | |
| 発行年 | | 年 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 題目 | |  |
| 著者名 | |  |
| 学術雑誌名 | |  |
|  | （巻，号，ページ）　（　　　　　，　　　　　，　　　　　）に掲載・掲載が決定 | |
| 発行年 | | 年 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 題目 | |  |
| 著者名 | |  |
| 学術雑誌名 | |  |
|  | （巻，号，ページ）　（　　　　　，　　　　　，　　　　　）に掲載・掲載が決定 | |
| 発行年 | | 年 |

（備　考） １．学位論文名は日本語とし，英語の論文名がある場合は併記すること。

　　　　　　 ２．著者名は共著者も含め全員フルネームで記載すること。

（第３号様式）

論　文　要　旨

氏　　　　　　名

論文名

　学位論文要旨(和文2,000字)

　　　　(標準書式：日本工業規格A４，11ポイント，1行38字，1ページ40行，左右余白25mm)

氏名

|  |  |
| --- | --- |
| キーワード（３～５） |  |

（第４号様式）

学位論文予備審査結果報告書

令和　　年　　月　　日

愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻長　　殿

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 審　　　査　　　委　　　員 | |  |
| 主　査 | 印 |
| 副　査 | 印 |
| 副　査 | 印 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 氏　　　 名 |  |  |
| 専　　　 攻 |  |
| 論 文 題 目 |  |

上記の者につき，下記のとおり審査結果を報告いたします。

記

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 審査結果 |  |  |

（審査結果は，承認又は保留とする。）

**予備審査について**

１）提出日時（年２回）

修了予定年次の１１月第２火曜日１７時（時間厳守）

（９月修了予定の者については，５月第２火曜日１７時（時間厳守））

＊当日が土・日曜日または祝日の場合は，その直後の平日とする。

２）提出書類

①予備審査申請書（第１号様式）：１部

②学位論文：３部

③論文目録（第２号様式）：３部

④論文要旨（第３号様式）：３部

⑤参考論文が掲載又は掲載が決定していることを証明する書類：３部　　注１）

注１）参考論文は，日本学術会議協力学術研究団体として登録されている学会の学術雑誌（英

語論文を含む）又は査読のある海外の学術雑誌へ本人を筆頭著者とする論文を１編以上掲載，あるいは掲載が決定していなければならない。ただし，修士課程（博士前期課程）修了以降に掲載された論文であることとする。なお，原著論文である必要はない。

証明する書類として次のものを提出すること。

・既に掲載されている場合：掲載ページの１ページ目

・掲載が決定している場合：掲載承諾書，採択通知文書（メール文書可）等

３）提出方法

バインダーに，「④論文要旨（第３号様式）」「②学位論文」「③論文目録（第２号様式）」「⑤参考論文が掲載又は掲載が決定していることを証明する書類」の順に綴り，「①学位申請書（第１号様式）」を添えて提出する。

４）提出先

学務課大学院チーム

５）予備審査

・１１月末（９月修了予定の者については５月末）までに主査及び副査による予備審査を行う。リサーチ・ルーブリックを用いて研究内容がディプロマ・ポリシーで示された内容に相当しているかを審査する。

（40,41ページ参照）

・審査は，プレゼンテーション（30分）及び質疑応答（制限時間なし）とし，学位論文審査基準に準じて行う。（24ページ参照）

・予備審査の判定結果は「合格」又は「保留」とし，「保留」の場合は学位論文等を修正の上，次回以降の予備審査となる。

・予備審査の判定結果は，１２月（９月修了予定の者については６月）に開催される看護学専攻会議で報告する。

６）予備審査様式は，愛媛大学医学系研究科・医学部HPから取得できる。